

【OIE 情報】台湾における狂犬病の発生について

台湾におけるハクビシンでの狂犬病の発生について、OIEへ緊急報告(終報)がありましたのでお知らせします。台湾では2013年7月の確認以降、イタチアナグマでの発生が続いていましたが、ハクビシンで初めて発生が確認されました。

なお、2014年7月1日以降のイタチアナグマでの狂犬病の発生については、台湾はOIEに対して6か月毎に報告をする予定です。

【出典】

OIEウェブサイト(2014年12月29日付け)

http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=16845

(OIE情報は更新・差替えが行われる場合がありますので、出典元も併せて御確認下さい。)

【概要】

- ・発生数: 1 件 (緊急報告)
- ・発生日: 2014 年 12 月 23 日
- ・OIE への報告日: 2014 年 12 月 30 日
- ・臨床徴候あり

【発生状況】

- ・発生場所: 屏東県(へいとうけん)恒春鎮(こうしゅんちん)

【動物種】	【飼育頭数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
ハクビシン		1	1	0	0

【疫学情報】

- ・感染源: 不明又は調査中
- ・台湾は2013年のイタチアナグマでの発生以降、国家サーベイランスプログラムを実施
- ・イタチアナグマでの狂犬病の発生についてはOIEへ6か月毎に報告される予定
- ・2014年12月23日、屏東県 恒春鎮にある墾丁国家公園で捕獲されたハクビシンが、地域の動物病院に送られ、12月24日に死亡
- ・2014年12月29日、死亡した個体は家畜衛生試験所に送付され、直接蛍光抗体検査により狂犬病の感染を確認
- ・台湾の国家サーベイランスプログラムの中でハクビシンでの狂犬病の発生の確認は初めて
- ・県担当局は、感染したハクビシンが発見された地域において、犬猫に対するワクチン接種の強化を継続

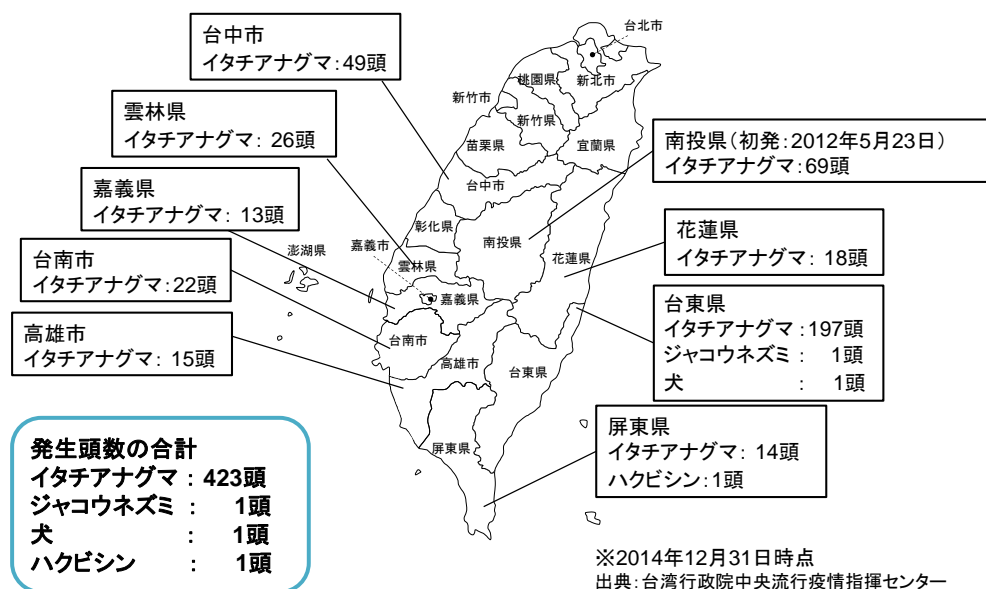
【対応】

- ・隔離
- ・スクリーニング
- ・発生に応じたワクチン接種実施
- ・患畜を治療対象としない

【診断】

- ・直接蛍光抗体検査(FAT): 陽性(2014年12月29日、家畜衛生試験所(国立研究所))

参考 1: 台湾における狂犬病の発生状況



参考 2: 台湾の犬猫における狂犬病ワクチンの接種率

台湾行政院中央流行疫情指揮中心公表情報 (2013年10月23日付け)

http://www.baphiq.gov.tw/newsview.php?typeid=1939&typeid2=&news_id=8398

(仮訳)

山地の原住民居住地域及び動物で狂犬病感染例が認められた地域の犬猫の狂犬病ワクチン接種率は累計9割以上に達し、イタチアナグマの出没は認められるが狂犬病陽性のイタチアナグマが未だに出現していない地域(郷鎮)の犬猫の接種率は72%に達し、その他の地域(離島を含まない)の接種率は60%となった。

(訳注: 2013年7月28日台湾行政院農業委員会動植物防疫検疫局の公表情報によると、当時の犬猫のワクチン接種率は約4割。)

参考 3: これまでの台湾における狂犬病の発生情報等は、当省ウェブサイトで公表しています。

水際における狂犬病対策について

URL: <http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/eisei/rabies/index.html>

当省ホームページからの閲覧方法は下記参照。

農林水産省ホームページ (<http://www.maff.go.jp/index.html>)

- ＞ 組織・政策
 - ＞ 消費・安全
 - ＞ 家畜の病気を防ぐために(家畜衛生及び家畜の感染症について)
 - ＞ 水際における狂犬病対策について
- 【参考情報】台湾における狂犬病の発生について

農林水産省

水際における狂犬病対策について

狂犬病は、アジア、米国、EU諸国をはじめ世界各所で感染して発生がみられ、世界保健機関(WHO)によれば、年間5万人が感染していると報告されております。本県は、近年発生がない種が園において、最も警戒すべき感染症の一つとなっています。

種が園では、狂犬病予防法に基づき、犬の登録及び予防接種等の園内対策、空陸や海などにおける水際対策として、犬猫等の輸出入検査を実施しています。

農林水産省では、動物検疫所において輸出入検査を担っているほか、国際機関と連携し、外国船による

【参考情報】台湾における狂犬病の発生について

発生状況等の概要
台湾における狂犬病発生の実態(平成23年9月20日)(PDF:1,255KB) New
(台湾における狂犬病発生の実態、状況、対応策について取りまとめています。)

台湾当局からOIEへの発生報告等
台湾当局からOIEへの発生報告等
(×)園に一度も届いていません。)
台湾における狂犬病の発生について(Follow-up report No.30-31)(平成23年9月12日～9月13日付OIE報告書)(PDF:328KB) New
>> 過去の発生報告等の情報はこちら(Follow-up report No.29まで)